

西都市文化振興ビジョン（概要版）

策定にあたって

◎策定の趣旨

本市の優れた歴史資産や伝統芸能を適切に保存・継承されるとともに、文化・芸術活動を通じて、市民が豊かな創造性や感受性を育むことができ、新たな文化・芸術活動が創出されるよう、本市が目指すべき文化振興の基本理念や施策の方向性を明らかにするものです。

策定までの流れ

作業項目	R6												R7									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
市民アンケート								アンケート実施 ●————●	集計・分析 ●————●													
学校Webアンケート							校長会説明 アンケート実施 ●————●	集計・分析 ●————●														
庁内検討会議		●メンバー選任 ①				②						③		④			⑤				書面報告	策定
市民懇話会					●メンバー選任 ①							②		③			④				⑤	
案作成等								第1案作成 ●————●				第2案作成 ●————●		第3案作成 ●————●			パブリックコメント ●————●			(報告)教委議会		

・庁内検討会議実施日 ① 12/3 ② 12/3 ③ 12/3 ④ 12/3 ⑤ 12/3

・市民懇話会実施日 ① 7/31 ② 12/3 ③ 2/18 ④ 6/3 ⑤ 9/30

アンケートでみえた課題

1. 文化・芸術に対する興味や関心の薄さ

文化・芸術の魅力を高め、興味や関心を向上させる必要があります。

2. 情報発信の不足

時代・ニーズにあった情報提供手段の見直しを図り、情報発信力の強化に努める必要があります。

3. 文化・芸術に対する興味や関心の薄さ

本市の特色である文化財の魅力を多くの方に届けられるよう活用方法を工夫する必要があります。

4. 施設の適切な維持管理と整備・活用

施設の適切な維持管理に努め、多くの人が集まる施設としての整備・活用を図る必要があります。

5. 文化・芸術に触れるきっかけづくり

文化・芸術を身近に感じ、触れることができる環境を創る必要があります。

目指すべき姿と基本目標

目指すべき姿

郷土愛が育まれ、誰もが文化・芸術に親しみ、心豊かにくらせる

つくる

魅力をたかめ、新たな文化・芸術をつくる

施策1. 文化財が適切に保存、活用される仕組みづくり

施策2. デジタル環境の整備と情報発信力の強化

施策3. 他分野との連携による新たな文化・芸術の創造

ささえる

個人や団体の文化・芸術活動をささえる

施策1. 個人や団体の多様な文化・芸術活動の推進

施策2. 文化芸術団体の主体的な活動への支援

施策3. 市民が利用しやすい文化・芸術活動の場の整備

そだてる

これからの未来を担う人材をそだてる

施策1. 子どもや若者が文化・芸術に触れる機会の創出

施策2. 文化・芸術を通じて人のつながりや交流を育む

施策3. 地域固有の伝統文化の継承と育成

実現に向けた仕組みづくり

1. 「文化振興ビジョン推進会議」の設置

文化振興における状況や課題について、市民や文化・芸術活動を行う個人、団体などが本ビジョンの進捗状況や方向性の確認、成果の検証などについて意見を述べる場として設置します。

2. 「文化振興ビジョン庁内連携会議」の設置

行政内部において関係課との連携体制を構築し、協力しながら本ビジョンの推進を図ります。